

令和2年度 事業報告書

自 令和2年4月 1日

至 令和3年3月31日

住 所 東京都文京区春日1丁目16番30号

法人名 公益財団法人 **講 道 館**

令和 2 年度事業報告書

【公益事業】

1. 青少年を対象とする学校講道館の運営

本年度は講道館においても、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、令和2年2月27日～5月31日、令和3年1月16日～2月7日の二度稽古を休止した。再開後は健康観察カードの提出、検温、マスクの着用、換気、道具や道場の消毒、状況に応じて稽古の条件及び内容を変更するなど、感染予防及び感染拡大防止対策を徹底しつつ、運営に努めた。この期間における練習内容及び練習段階は次のとおりである。

(講道館での練習内容及び練習段階)

段階	感染状況	柔道練習の内容	練習時間	実施期間
1-A	修行者に感染者や濃厚接触者がいない	○単独練習、固定した場所での練習 受身、一人打込、技術指導、補助トレーニングなど	約 50 分	2020. 6. 1～ 6. 13
1-B		○相手と直接組まないでの練習、移動を伴う練習 受身、一人打込、技術指導、補助トレーニング、 ゴムチューブを使つての打込など (チューブをもつ相手は1人に限定)	約 1 時間 20 分	2020. 6. 15～ 8. 8 2021. 2. 8～ 2. 13
2-A	修行者に感染者や濃厚接触者がいない	○相手と組んでの練習 軽めの打込(投技のみ)、技術指導(固技は単独) ※組んだ時は息を上げないように注意する。組む相手は1人に限定。 ※息を上げる稽古は、補助トレーニング、ゴムチューブ打込などで実施。	1 時間 20 分 組まない 70% 組む 30%	2020. 8. 11～ 8. 23 2021. 2. 15～ 2. 27
2-B		○相手と組んでの練習 軽めの打込(投技/固技)、技術指導(固技も組んで行う) ※組んだ時は息を上げないように注意する。組む相手は1人に限定。	1 時間 20 分 組まない 60% 組む 40%	2020. 8. 24～ 9. 12 2021. 3. 1～ 3. 31
3	地域において感染者の著しい増加がない	○相手と組んでの練習 打込(技技/固技)、乱取(投技/固技)、試合練習導入 ※一日に組む相手を制限(3～5人) ※軽めの乱取とする	2 時間以内 組まない 50% 組む 50%	2020. 9. 14～ 2021. 1. 15
4		通常の練習 及び 試合		

(生徒数の変遷)

令和2年度の学校講道館の生徒数について、平成30年度、令和元年度を挙げて令和2年度と比較した。
(名)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
柔道普通科	6 8	8 3	6 5
柔道特修科	1 3 4	1 6 8	9 2
柔道補習科	1 2	1 0	1 0
柔道研修科	2 0	2 1	2 1
柔道国際科	4 4	4 3	1 6
合 計	2 7 8	3 2 5	2 0 4

2. 講道館道場における柔道の指導教授

(1) 道場における指導

延べ170名を超す指導員・講師を配置し、各科においては、それぞれの対象の実態をふまえた上で、生徒の心身の発育、発達段階や、能力・適性、興味・関心等の実状を考慮し、柔道技術面だけにとどまることなく、礼法や相手を尊重する態度、公正な態度、柔道の持つ伝統的な行動の仕方等を重視して修行者の指導に当たった。態度に関する内容は、柔道が我が国の伝統的な運動文化であるため、特に礼法や相手を尊重する態度、公正な態度、健康・安全に関する態度及び柔道の持つ伝統的な行動の仕方などを重視して指導した。

(指導員・講師)

道場における修業者の指導を適切に行うため、道場指導部においては、錬成部指導員、成年部指導員、女子部指導員及び大阪道場指導員を選任、学校講道館では少年部講師、男子部講師、女子部講師及び国際科講師を選任し、各部毎に指導計画、実施方法を定めて技術面、精神面にわたり指導した。

(稽古時間及び指導時間)

(本館)			(大阪)
ア. 一般稽古			午後6:00-8:00
平日	男子	午後4:00-8:00	
	女子	午後6:00-7:30	
土曜	男子	午後4:00-7:30	
	女子	平日に同じ	
イ. 少年指導		午後4:30-6:00	午後5:00-6:00
ウ. 「形」指導			
形研修	毎月1回土曜日	午後3:30-5:30	
形授業	毎週火曜日・金曜日	午後5:00-7:00	

(2) 研修会

道場指導員、学校講道館講師に対し、適宜研修会を実施した。また、道場指導員、学校講道館講師及び柔道高段者の資質の向上と自己研鑽に資する目的で、月1、2回の形研修を実施した。

(3) 暑中稽古及び寒稽古

暑中稽古は、講道館本館において、8月20～29日の10日間(申込者数130名 皆出席者数78名)、大阪国際柔道センターにおいて、8月20～25日の内5日間実施した。

寒稽古は、講道館本館において、令和3年1月6～15日の10日間(申込者数180名 皆出席者数100名)、大阪国際柔道センターにおいては、1月11～16日の内5日間実施した。

(4) 紅白試合及び月次試合

修行者の上達度合いを確認し修行の励みとするため、紅白試合を行った。

○月次試合 — 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、すべての月次試合を中止

○紅白試合

令和2年紅白試合(令和2年12月20日): 男子135名 女子7名 計142名

抜群者 男子2名(初段→貳段1名、貳段→参段1名)

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、春季紅白試合を中止し、一回開催とした。

大阪前期紅白試合⇒中止

大阪後期紅白試合⇒中止

3. 学校等の柔道指導者による青少年の健全な育成に関する協議会の開催

令和2年8月21日、22日、静岡県静岡市において、全国中学校柔道大会に先立ち、中体連柔道競技部の全国(47都道府県)委員長を対象として、「講道館中学校柔道指導者講習会」を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染防止の観点から、全国中学校柔道大会が中止となり、講習会も中止となった。

4. 柔道による青少年の健全育成に関する実践報告会及び研究会の開催

- (1) 大阪国際柔道センターで開催予定だった青少年の柔道普及を目的とした「少年少女柔道錬成発表会」は、新型コロナウイルス感染防止の観点から中止となった。
- (2) 全日本柔道少年団各地区代表者会議は、新型コロナウイルス感染防止の観点から中止となった。

5. 柔道による青少年の健全な育成に関する国内外諸団体との連絡、資料交換及び交流

新型コロナウイルス感染防止のため、令和2年度の講道館段位推薦委託団体(110団体)の会長会議の開催を見送った。

6. 柔道に関する講習会の開催

- (1) 夏期講習会
夏期講習会を令和2年7月6日から8月17日までの間、実施した。
*附属明細書①参照
- (2) 講道館講習会
正しい柔道の一層の普及発展を図るため、本年度も本館から講師を派遣し(経費は講道館負担)、講道館講習会を実施した。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、派遣先は2カ所で、講師は2名であった。
*附属明細書②参照
- (3) 講道館形講習会
制定された正しい“形”の修得を目指してもらう為に、講道館“形”講習会を本年も実施した。派遣先は、今回は1カ所で、講師は3名であった。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、その他10カ所で予定されていた講習会は中止となった。
*附属明細書③参照
- (4) 青少年育成講習会
新型コロナウイルス感染拡大の影響により、実施できなかった。

7. 柔道指導者の養成及び海外派遣並びに外国人柔道指導者等の受入れ

- (1) 柔道指導者の海外派遣について
以下の指導者海外派遣を計画したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため派遣は行わなかった。
ア. 本館による短期派遣
イ. 海外柔道連盟招聘による本館短期派遣
ウ. 国際柔道連盟(IJF)アカデミーへの派遣
エ. 海外柔道連盟招聘による本館長期派遣
オ. 国際交流基金との共催事業による短期派遣
カ. 本館以外による派遣(全柔連、日本武道館等)
キ. 国際柔道連盟(IJF)、アジア柔道連盟(JUA)関係諸行事及び大会への派遣
- (2) 外国人柔道指導者等の受入れについて
ア. 令和2年度、本館において修行した外国人は男子11カ国より15名、女子2カ国より2名、合計で12カ国より17名であった。
イ. 外国からの団体及びナショナルチームの本館での受け入れは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。
ウ. 講道館柔道国際セミナーについて
令和3年3月にセミナー実施を計画したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。
エ. 日アセアン自他共栄プロジェクト(国際交流基金アジアセンターとの共催)による招へい
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、形態をオンラインに変更し下記の通り行った。

- ① アセアン各国会長招へい
期 間：令和3年2月28日（計画案：令和2年5月18日～21日）
招へい国：アセアン10か国
- ② 講道館柔道国際セミナー
期 間：令和2年12月7日～令和3年1月25日
参 加 国：アセアン10カ国から58名（過去3年のセミナーで招へいした指導者）

(3) 国際協力機構（JICA）青年海外協力隊員に関わる事業等

- ア. 青年海外協力隊員技術補完研修について
新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。
- イ. 本館における技術補完研修を終了して派遣されている青年海外協力隊員
令和2年度に新型コロナウイルス感染拡大の為、隊員全員一時帰国した。
※附属明細書 参照
- ウ. 一時帰国隊員に対するオンライン研修会
※附属明細書 参照

(4) 柔道器材支援

- ア. 寄贈
令和2年度の寄贈はなし。
- イ. 提供
支援用柔道衣として、合計400着の柔道衣の提供を受けた。

8. 柔道に関する調査研究

- (1) 講道館技研究部会は、講道館柔道の審判規定について協議を行った。
- (2) 形部門に特化して「形検討委員会」において各形の留意点作成の為の協議を行った。
- (3) 日アセアン自他共栄プロジェクトの一環で教材作成を行った。

9. 柔道に関する図書、雑誌等の編集発行

- (1) 雑誌「柔道」
講道館機関誌である月刊「柔道」を4月号1,415部、5月号1,120部、6月号1,000部、7月号975部、8月号960部、9月号～3月号950部を毎月発行した。内容は、講道館行事の報告、講道館主催の講習会報告、国内外の主要な大会記事、アーカイブス（嘉納師範執筆の巻頭言、柔道本義）、論説、特別寄稿、各地だより、科学のページ、全柔連のページ、月次試合結果、昇段者等である。今年度はコロナ禍であり、海外への発送は行わず、国内の購読者に配付して柔道の普及発展に努めた。
- (2) 「講道館柔道科学研究会紀要」第18輯
歴史、技術、体力、心理、指導法に関する11件の論文を収録した「講道館柔道科学研究会紀要第18輯」を120部発行し、各都道府県図書館など、関係団体へ寄贈した。
- (3) 「講道館柔道科学研究会紀要」バックナンバーのWeb公開
「講道館柔道科学研究会紀要」第1から3輯及び第12から18輯までに収録されている論文138件を、講道館HPにて公開し、柔道研究の振興に努めた。

10. 柔道に関する文献資料の収集保存及び展示

- (1) 資料館
 - ア. 資料の保存環境の向上
定期的な清掃を行い、資料の保存に適した環境の維持、向上に努めた。
 - イ. 入館者数 606人（前年度比 5749人減）
国内男性348人、国内女性229人、海外男性27人、海外女性2人

総合的学習の一環として来館した学校は以下の2校（事前申請のあった学校のみ記載）

- 文京区立千駄木小学校
- 文京区立窪町小学校

ウ. 資料収集の促進

寄贈受入 25点

エ. 大会開催日等における休日開館

実施日：嘉納師範生誕祭（10月31日）、全国柔道高段者大会（11月29日）

※新型コロナウイルス感染症対策のため4月1日から9月6日まで、1月22日から3月22日まで閉館。

(2) 図書館

ア. 柔道関係の文献・映像資料の収集・保存・提供

a. 和書 106冊

b. 洋書 38冊

c. 映像資料 21点

蔵書数は和書5618冊、洋書1475冊の合計7093冊となった。

イ. 主要な大会プログラムの収集・保存・提供

受け入れたプログラム数 6点

ウ. 逐次刊行物（雑誌・新聞）の受入

a. 寄贈

・「柔道」講道館, 91巻4-12号, 92巻1-3号 2020年4-12月, 2021年1-3月

・「月刊武道」日本武道館, 2020年4-12月, 2021年1-3月

・「近代柔道」ベースボール・マガジン社, 42巻4-12号, 43巻1-3号

b. 購入

・「武道学研究」（令和2年度分）

・「体育学研究」（同上）

エ. 柔道に関する調査依頼への対応

問い合わせ件数 33件（研究者、学生、マスコミ関係者、一般等）

オ. 図書館利用者数 116人（前年度比 542人減）

国内男性99人、国内女性11人、海外男性2人、海外女性4人

※新型コロナウイルス感染症対策のため4月1日から9月6日まで、1月22日から3月22日まで閉館。

11. 柔道の国際大会及び国内大会の開催

(1) 全国柔道高段者大会

4月28日に開催予定であった全国柔道高段者大会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から延期となり、11月29日（日）に講道館大道場で開催された。全国から八段13名、七段85名、六段181名、五段215名、合計494名の参加があり、コロナ禍の中、参加者には10日間の体温測定と健康記録表の提出を義務づけ、徹底した感染防止対策の中で大会が行われ、一人の感染者も出さずに大会を終えた。

(2) 全日本柔道選手権大会

本館と全日本柔道連盟による共催の令和2年全日本柔道選手権大会は、4月29日に千葉ポートアリーナにて開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から延期となり、12月26日（土）に講道館大道場において無観客にて開催された。前年度優勝者、準優勝者等の推薦10名と全国10地区選出の40名を合わせた計50名のエントリーであった。

(3) 皇后盃全日本女子柔道選手権大会

本館と全日本柔道連盟による共催の第35回皇后盃全日本女子柔道選手権大会は、4月19日に横浜文化体育館にて開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から延期となり、12月27日（日）に講道館大道場において無観客にて開催された。前年度準優勝者等の推薦6名と全国10地区選出34名を合わせた計40名のエントリーであった。

(4) 全国少年柔道大会

全国少年柔道大会は5月5日講道館大道場において開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から中止となったが、代替事業としてリモートによる合同錬成を2回実施した。

(5) 全日本柔道形競技大会

本館と全日本柔道連盟による共催の全日本柔道形競技大会は、10月に講道館大道場で開催される予定であったが、新型コロナウイルス感染防止の観点から中止となった。

12. 柔道の段位認定

(1) 入門者 (外国人を含む)

本年度の入門者は11,073名で昨年度に比べ5,700名の減となった。
過去10年の入門状況は次のとおりである。

年 度	入門者数(名)	前年比(名)	年 度	入門者数(名)	前年比(名)
H23	22,729 (男子) 18,680 (女子) 4,049	-1,387	H28	19,689 (男子) 15,879 (女子) 3,810	-697 (-3.4%)
H24	23,055 (男子) 18,995 (女子) 4,060	+326	H29	21,273 (男子) 16,917 (女子) 4,356	+1,584 (+8.0%)
H25	21,643 (男子) 17,543 (女子) 4,100	-1,412	H30	18,775 (男子) 14,819 (女子) 3,956	-2,496 (-11.7%)
H26	20,881 (男子) 16,927 (女子) 3,954	-762	R元	16,773 (男子) 13,175 (女子) 3,598	-2,002 (-10.7%)
H27	20,386 (男子) 16,400 (女子) 3,986	-495	R2	11,073 (男子) 8,533 (女子) 2,540	-5,700 (-34.0%)

(2) 外国人入門者

本年度の外国人入門者は33(前年度比-36)の国・地域から男子80(同-616)名、女子24(同-190)名の合計104(同-806)名であった。

(3) 昇段者

本年度の昇段者は合計19,274名で昨年度に比べ3,964名の減となった。
過去10年の昇段状況は次のとおりである。

年 度	昇段者数(名)	前年比(名)	年 度	昇段者数(名)	前年比(名)
H23	31,940 (男子) 26,833 (女子) 5,107	-301 ※含最高審議会 356名	H28	26,846 (男子) 22,042 (女子) 4,804	-1,142 (-4.1%)
H24	32,333 (男子) 27,181 (女子) 5,152	+393	H29	28,488 (男子) 23,278 (女子) 5,210	+1642 (+6.1%) ※389名
H25	30,326 (男子) 25,197 (女子) 5,129	-2,007 ※385名	H30	25,070 (男子) 20,218 (女子) 4,852	-3,418 (-12.0%)
H26	28,406 (男子) 23,413 (女子) 4,993	-1,920	R元	23,238 (男子) 18,790 (女子) 4,448	-1,832 (-7.3%) ※374名
H27	27,988 (男子) 23,061 (女子) 4,927	-418 ※369名	R2	19,274 (男子) 15,314 (女子) 3,960	-3,964 (-17.1%)

※最高審議会を含む

(4) 講道館コミッティ (海外段位推薦委託団体)

海外各国柔道連盟と講道館コミッティ契約を結んだ。

ベトナム 令和2年12月18日

インドネシア 令和3年3月1日

ネパール 令和3年3月19日

13. 柔道の合宿、講習会、大会等参加者のための宿泊・休憩施設の提供

講道館で柔道の合宿、講習会、大会等が行われる際に、参加者及び指導者・運営役員等に対して新館3階フロアをホステルとして提供している。本年は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりオリンピックの延期や各種大会、イベントの中止に伴い宿泊者数は激減した。令和2年度宿泊者は延べ総数328人で、昨年度総数9,431人に比べて約3.5%であった。

14. 東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催への協力

本年7月から8月にかけて東京にて開催されるオリンピック・パラリンピック競技大会において、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会に対し、公式練習会場として道場等の貸し出しを行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響でオリンピック・パラリンピックが1年延期となったため、練習会場の貸し出しも来年へと繰り越しになった。

【収益事業】

15. 物品販売

柔道関係の書籍・DVD、柔道グッズ等の雑貨、カレンダー等の刊行物を販売した。また、登録商標の使用許諾料収入等も得た。概要については下記の通り。

(1) 書籍

投の形、固の形、極の形、柔の形、講道館護身術、五の形・古式の形、昇段内規、嘉納治五郎（伝記）、JIGORO KANO AND THE KODOKAN（同伝記英語版）、講道館柔道試合審判規定、激闘の轍、百三十年沿革史、嘉納治五郎著作集（一）～（三）、嘉納治五郎（私の生涯と柔道）、嘉納師範に学ぶ、少年柔道指導法

(2) DVD

形：投の形、固の形、柔の形、極の形、講道館護身術、五の形、古式の形
激闘の轍（昭和編）・（平成編）、術から道へ

(3) 雑貨

ネクタイ、タオル、高段者バッジ、額（大）、額（小）、段マーク、短冊（精力善用・自他共栄）、色紙（精力善用 自他共栄）、額（精力善用・自他共栄）、師範遺訓額（和文、英文付き、和文〈小〉）
銀製バッジ（ネジ/タックピン）、並バッジ（蝶ピン/ネジ/安全ピン）

(4) 刊行物

カレンダー、絵葉書

(5) その他

講道館マーク使用料 3件
売店手数料収入 1件

16. 貸室・駐車場賃貸等事業

講道館が所有する不動産の一部を店舗、病院、事務所、駐車場等として賃貸した。また、自動販売機等のサービスを有料で提供した。概要については下記の通り。

(1) 貸室

講道館本館 7階	歯科医院
本館 6階	医院
本館 5階	事務所
本館 4階	事務所
本館 2階	事務所
新館 1階・地下 1階	物品販売
新館地下 1階	飲食店
大阪国際柔道センター 1階	飲食店
3階	事務所

(2) 駐車場

講道館	8台（月極）
	20台（インターネット予約サイト）
大阪国際柔道センター	7台（月極）

(3) 自動販売機、その他（ロッカー、コイントリー等）サービス

事業報告書－附属明細書

①夏期講習会

講習名	受講資格	講習の目的	期間	受講者数 (修了者数)
第1部	男子四段、女子二段以上	柔道高段者の資質の向上	7.6 ~ 7.11	49 (17)
第2部	参段以下の有段者・無段者	柔道修行の基礎の確立	8.11 ~ 8.13	55 (51)
女子柔道	女子柔道修行者	柔道修行の基礎の確立	8.15 ~ 8.17	19 (19)
少年柔道	少年柔道修行者	柔道修行の基礎の確立	8.15 ~ 8.17	66 (60)
教科柔道	柔道指導者及び教科柔道指導者	指導法の学習	8.11 ~ 8.13	18 (17)
計				207名 (164名)

②講道館講習会

	日時	主催	会場	内容	講師
1	2020/11/22 (日) 10:00~15:30	埼玉県柔道連盟	埼玉県武道館	「投の形」	道場良久
2	※2021/1/10(日) 9:00~16:00	福井県柔道連盟	福井県立武道館	「国際柔道連盟試合審判規定」の解説と実技指導	森英也

※講師を派遣するも豪雪のため中止

③講道館形講習会

	日時	主催	会場	講師・形			
1	7月12日(日)	北海道	北海道立総合体育センター 武道室	投の形	柔の形	講道館護身術	五の形
				鮫島 元成	鮫島 元成	道場 良久	小志田憲一

④海外派遣

- ア. 本館による短期派遣 なし
- イ. 海外柔道連盟招聘による本館短期派遣
ドイツ、オーストラリア、中国・香港から講習会講師として派遣要請を受けたが、新型コロナウイルス感染拡大の為講習会が中止となり派遣は行わなかった。
- ウ. IJF アカデミー への派遣
IJF から派遣要請を受けたが、新型コロナウイルス感染拡大の為講習会が中止となり派遣は行わなかった。
- エ. 海外柔道連盟招聘による本館長期派遣
七段 大島修次 中国・マカオ（ナショナルチーム強化）
新型コロナウイルス感染拡大の為、現地への入国が不可となり派遣は行えなかった。
- オ. 国際交流基金による短期派遣 なし
- カ. 本館以外による派遣（全柔連、日本武道館等） なし
- キ. IJF、JUA、IBSA 諸会議及び大会への派遣 なし

⑤ J I C A（国際協力機構）青年海外協力隊員に関わる事業

- ア. J I C A（国際協力機構）青年海外協力隊員技術補完研修について
期間：令和3年3月
新型コロナウイルスの影響により中止
- イ. 本館における技術補完研修を終了して派遣されている J I C A（国際協力機構）青年海外協力隊員で
令和2年度に任期を終了した隊員（計15名）

四段	蛭田義洋（ミャンマー）	参段	村上瑠希也（ボツワナ）
参段	畑谷大樹（インドネシア）	参段	矢古宇大貴（カメルーン）
参段	瀧本庸平（ラオス）	参段	坂野太軌（ザンビア）
参段	小野寺絃（モンゴル）	女子参段	山田美咲（ネパール）
参段	白石匠（ジブチ）	女子参段	八木絢圭（ベトナム）
四段	芦田弘毅（ウズベキスタン）	女子参段	氏家美優（モザンビーク）
参段	石崎信太郎（エルサルバドル）	女子参段	青木菜摘（ペルー）
参段	歌代勇祐（ブータン）		
- ウ. 令和2年3月31日現在で再赴任中の隊員（計1名）
参段 鈴木拓馬（カンボジア）
- エ. 一時帰国隊員に対するオンライン研修会
令和2年5月27日（座談会）、6月3日（進路選択）、6月22日（活動手法）
- オ. J I C A（国際協力機構）シニア海外ボランティア
令和2年度に任期を終了して帰国したシニアボランティア（計0名）
令和3年3月31日現在で赴任中のシニアボランティア（計0名）